

予防接種はもっとも効果的な予防法です

第1期 (計3回接種)

日本脳炎予防接種のご案内

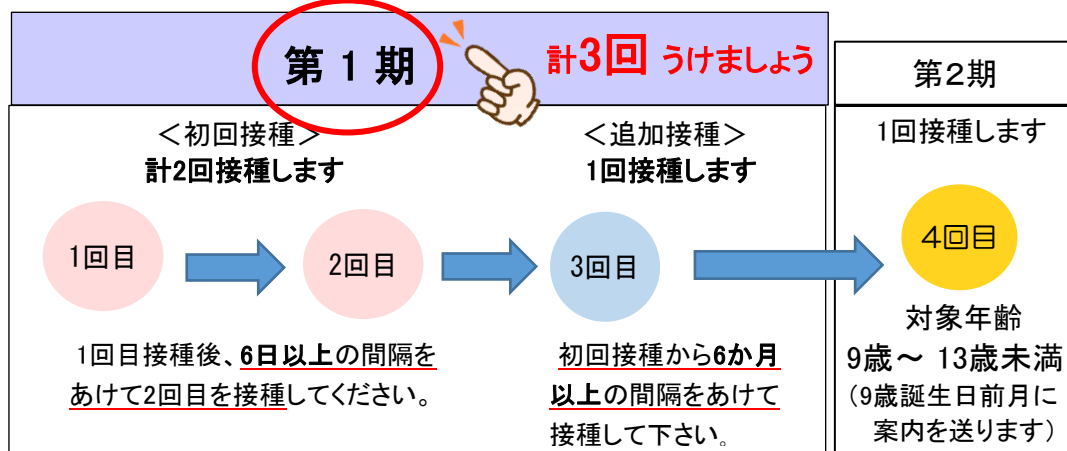


3歳を迎えたお子さんは、第1期 日本脳炎予防接種の対象になります。

対象期間中は無料で接種を受けることができます。標準的な接種スケジュールに沿って、お子さんの体調の良いときに、なるべく早く接種しましょう。

※近年、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の流行で、接種をうける機会を逃してしまうケースがあります。案内が届き次第、早めに接種することをお勧めします。

### 標準的な接種スケジュール



### ＜接種を受ける前に＞

- (1) 接種を受けたい医療機関で予約をとる必要があります。裏面の医療機関一覧をご参照ください。希望する医療機関で確認のうえ予約をお取りください。
- (2) 今回送付する「日本脳炎予診票」で、**第1期の接種3回分**が受けられます。定期接種対象年齢を過ぎると使用できなくなりますのでご注意ください。(7歳6か月まで。)
- (3) お子さんが成長するにしたがい、外出や行事などが増え、接種の機会を逃すことが多くなります。お子さんが小さいうちに、標準のスケジュールに沿って接種を完了させましょう。

裏面もご覧ください

### ＜予防接種の当日には＞

- (1) 予診票の質問事項について、回答欄に記入しましょう。
- (2) 病院には次のものを忘れずに持っていきましょう。
  1. 第1期 日本脳炎予防接種予診票
  2. 母子健康手帳※接種料金は無料です。(対象期間を過ぎると、自己負担(1回約7千円)になります)
- (3) 申し込みをしても、次に該当する場合は接種できません。
  1. 接種当日に熱があるとき(37.5℃以上)
  2. 重篤な急性疾患にかかっているとき
  3. 医師に接種ができない状態であると診断されたとき
  4. お子さんがおたふくかぜ、インフルエンザなどに罹り、治ってから4週間経過していないときや、家族や仲の良いお友達がおたふくかぜなどに罹り、その方に接触して2週間経過していないとき

### ＜接種後に気をつけること＞

- (1) 接種後30分はお子さんの様子を見てください。この間に急な副反応が起こる場合があります。
- (2) 接種当日は激しい運動を避けましょう。
- (3) 入浴は差し支えありません。接種部位は清潔に保ちましょう。ただし接種部位をこすらないように気をつけてください。
- (4) 接種後に、発熱、注射部位が赤くなったり、痛んだりなどの症状があります。数日は健康状態に注意して下さい。
- (5) 高熱やけいれんなどの症状が現れた場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。

＜接種間隔について＞ これまでは、異なる種類のワクチンを接種する場合、接種間隔が決められていましたが、令和2年10月より、予防接種法が改正され、以下のとおりに変更されました。

注射生ワクチン

BCG、麻しん  
風しん、おたふく、水痘など

27日以上  
あける

異なる種類の  
注射生ワクチンが  
接種できます。

## 日本脳炎予防接種を受けられる医療機関

医療機関名	住所	電話番号
小笠原内科クリニック	上中島町3-2-20	25-2580
釜石ファミリークリニック	大渡町3-15-26 (保健福祉センター内)	31-1616
神林医院	甲子町10-483-5	23-6635
小泉医院	中妻町3-6-6	23-5157
平野内科医院	只越町3-3-3	22-1273
堀耳鼻咽喉科眼科医院	只越町2-5-24	22-1005
庄子医院	只越町2-2-10	22-3677
釜石しょうけいクリニック	甲子町10-268-1	27-8571
岩手県立釜石病院 小児科外来	甲子町10-483-6	25-2011
国立釜石病院	定内町4-7-1	23-7111

2024年3月現在

### 日本脳炎の話

日本脳炎は、日本脳炎ウイルスの感染によって起こる脳や脊髄などの中枢神経の病気です。ブタなどの動物の体内でウイルスが増殖して、その豚を刺したコガタアカイエカ(水田などに発生する蚊の一種)がヒトを刺すことによって感染します。ヒトからヒトへの感染はありません。



東アジア・南アジアにかけて広く分布する病気で、日本では、大部分が、九州・沖縄地方および中国・四国地方で発生しますが、将来的に温暖化の影響で、東北地方・北海道へのウイルス媒介蚊の分布域が拡大し感染リスクが発生する可能性も考えられています。感染者の100人～1000人に1人が発症し、感染後1～2週間して、発熱、倦怠感などの症状が発生します。けいれん、意識障害がみられる重症な脳炎は、感染者の1000人～5000人に1人くらい発生するといわれています。致死率は約15%で、約50%に後遺症が残るといわれています

### 日本脳炎ワクチンの話

日本脳炎の予防接種は、ワクチンの副作用で「重症ADEM(アデム急性散在脳脊髄炎)」を発症した事例があったため、平成17年5月から定期予防接種として市町村で積極的に勧奨することを差し控えていました。

現在では、新ワクチン(幹細胞培養ワクチン)が開発され、安全性が認可されており、予防接種を再開しています。

お問合せは  
釜石市保健福祉部健康推進課

住所: 大渡町3-15-26 電話: 22-0179  
(保健福祉センター2階)

